

●学内選考（大学で取りまとめの上、募集元へ申請します。希望者は大学まで申請してください）

	財団名称	募集対象	応募方法	募集人数	貸与または給付	金額	応募用紙入手・リンク先	学内提出期限	提出方法	学内指定提出書類	注意点
27	公益財団法人 米濱・リンガーハット財団 (Yonehama Ringerhat scholarship Foundation)	(1)鳥取県・長崎県内の高等学校等を卒業し、2025年度に学部2～4年生および大学院博士前期課程・博士後期課程に在籍する者 (2)2025年3月31日の時点で、学部生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下の者。留学生は満31歳以下の学部生、または満38歳以下の大学院生 (3)財団が指定する成績要件・収入要件を満たす者 ※募集要項参照 ※International students can also apply.	学内選考	10～20名程度	給付	月額20,000円	https://www.yonehama-rh-found.or.jp/scholarship/guideline.html 	2025/5/16(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	※他団体との併給も可
26	公益財団法人TAKEUCHI育英奨学会	(1)品行方正・志操堅固、健康で学業成績が優秀であること (2)学資が豊かでないこと (3)機械工学・電気工学・制御工学等の理工系の学生で、長野県出身者である者。 (4)4月現在において次の学年に在籍する者 大学院1年生／大学2年又は3年生 ※すでに他の奨学金(給付型・貸与型を問わず)を受けている学生も対象です。ただし、他団体等が重複受給を認めていない等の理由で奨学金支給決定通知後の辞退は受けられません。	学内選考	全国：70名程度	給付	月額60,000円	募集要項・応募書類 推薦書 	学内締切：2025/4/25(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	
25	公益財団法人アキレス育英会	(1)2025年度入学の学部1年生 (2)学術優秀、品行方正でありながら経済的理由により修学が困難な者	学内選考	16名	貸与	自宅通学者 月額 30,000円 自宅外通学者 月額 40,000円	募集要項・応募書類 	2025/5/9(金)	持参・郵送(必着)	本学指定提出書類	・他奨学金との併給可 ・奨学金は無利子で貸与 ・連帯保証人1名と保証人1名が必要
24	公益財団法人日揮・実吉奨学会 (JGC-S Scholarship Foundation)	・設立趣旨並びに奨学生の義務を理解している者 ・理系学部 に在籍している正規の学生(聴講生や研究生は対象外)。 ・2025年4月2日時点の年齢が、4年制学部の大学生23歳以下、6年制学部の大学生25歳以下、大学院生(修士課程)25歳以下、博士課程(D1)26歳以下である者 ・人物・学力ともに優れ、かつ健康である者 ・現課程に限らずこれまでの学歴を含め、申請時点で過去に留年していない者 ・経済的な支援を必要とする者 ・大学独自制度のうち現金が給付される支援を受けていない者 ・日本学術振興会特別研究員、科学技術振興機構、大学独自制度等から安定的な経済支援を受けていない者 ・当財団の奨学金に採用されたことがない者 ※Only for the Japanese students.	学内選考	本学推薦枠：3名(大学生・大学院生合わせて)	給付	年額400,000円	募集要項 申請書・口座登録届 誓約書・推薦状 申請書記入例 	2025/5/2(金)	メール・持参・郵送(必着)	本学指定提出書類	注意事項 申請書・口座登録届(入力後、エクセルデータで大学担当者にメールで提出) その他応募書類提出については募集要項をよくお読みください。
23	公益財団法人 自然の恵み財団(Shizen no Megumi Foundation)	(1)食品、農水産物及び栄養学の分野を専攻する学生 (2)大学学部1年生 (3)学資の支弁が困難な者や学業成績優秀者、人物が優秀で、かつ健康である者 (4)年齢30歳未満である者(2025年4月1日現在) ※Only for the Japanese students.	学内選考	本学推薦枠：2名	給付	月額30,000円	募集要項 願書・推薦書 	2025/6/9(月)	持参・郵送(必着)	本学指定提出書類	

	財団名称	募集対象	応募方法	募集人数	貸与または給付	金額	応募用紙入手・リンク先	学内提出期限	提出方法	学内指定提出書類	注意点
22	公益財団法人 広智奨学会	(1)国内の大学の理工系学部 に在籍する大学2年生～4年生であること。 (2)日本国籍を有すること。 (3)学業・人物ともに優秀であり、健康であること。 ※Only for the Japanese students.	学内選考	38名程度	給付	月額30,000円	kochishogaku.net 	2025/5/12(月)	持参・郵送 (必着)	本学指定提出書類	
21	公益財団法人 中部奨学会 (Nakabe Scholarship Foundation)	(1) 2025年4月現在在籍の学部学生、大学院生 (2) 人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由(独立行政法人日本学生支援機構が実施する第二種学資金の対象となる者と同程度)により著しく修学困難な者	学内選考	全国 学部：支給生2名、貸与生3名 大学院博士前期課程：支給生2名、貸与生2名 大学院博士後期課程：支給生3名	貸与・給付	学部：月額35,000円 大学院博士前期課程：月額60,000円 大学院博士後期課程：月額60,000円	https://nakabe-foundation.org/oubo/  WEB出願推薦書	2025/4/18(金)	WEB出願手続・郵送 (必着)	本学指定提出書類	
20	石川県育英資金 (石川県教育委員会) (Ishikawa Prefectural Government Scholarship)	(1) 保護者等が石川県内に現に引き続き3年以上居住していること (2) 勉学意欲があり、かつ、学費の支弁が困難な者 (3) 日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていないこと(併願申請は可能だが、併用は不可) (4) 学部学生であること	学内選考	全国： 80名	貸与	月額44,000円	2025募集要項 	2025/4/24(木)	窓口・郵送 (必着)	本学指定提出書類	
19	公益財団法人紀文・保芦記念財団	(1) 学部1～3年生、大学院博士前期課程1年生の学生 (2) 財団の設立趣意に適う高い志を持ち、品行が正しく、学業が優れ、かつ、将来良識ある社会人としての活躍が期待できる者 (3) 在学する大学または大学院の学部長、専攻長、指導教官等の推薦する者 (4) 心身が健康である者 (5) 経済的な理由により修学が困難である者 (6) 2025年4月1日現在30歳以下である者	学内選考	全体で約80名	給付	月額50,000円	https://www.kibun.co.jp/kibun_foundation/ 	2025/5/6(金) ※期限延長しました。	持参・郵送 (必着)	本学指定提出書類 提出書類 ① 奨学生願書 ② 小論文※日本語(800 字～1,000 字程度。テーマは「奨学金を得て学んだことを通じ、食品及び農畜水産業の分野で今後自分が成し遂げたいこと」とする。) ③ 大学または大学院からの推薦状 ④ 誓約書 ⑤ 口座振込依頼書 ⑥ 成績証明書(大学 1 年生の場合は卒業高校の調査書) ⑦ 世帯年収を証明する書類(2024 年度所得証明書) ⑧ 収入見込計算書(根拠資料含む)【大学院生のみ提出】 * ①～⑤、⑧については、財団ホームページ(https://www.kibun.co.jp/kibun_foundation/index.html)に掲載 * 上記書類は、ホチキス留めせず、クリップでまとめて提出してください。	
18	公益財団法人 国土育英会 (Kokudo Scholarship Foundation)	(1) 学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学業の維持のために奨学金の給与が必要と認められる者。 (2) 2025年4月時点で正規生として大学・大学院に在学する日本人学生、所属学部・学科は不問。 ※Only for the Japanese students.	学内選考	推薦枠： 2名	給付	月額18,000円	2025募集要項 願書 推薦書 	2025/4/21(月)	持参・郵送 (必着)	本学指定提出書類 ・東京都内での面接、またはWeb面接が可能な者とします。(5月末～6月初旬を予定) ・毎年年度末に、成績証明書、在学証明書または卒業証明書を提出が必要。 ・財団が開催する交流会へ参加すること。開催する際は事前にご連絡あり。遠方の方は交通費等負担のないよう配慮あり。	
17	福島県奨学資金	次の条件を具備していること ①福島県内の高等学校を卒業した者、若しくは高等学校卒業程度認定試験若しくは大学入学資格検定に合格した者。(合格当時県内に住所を有していた場合に限る。)・・・入学又は入学する目的をもって住所を移転するまで県内に引き続き6ヶ月以上住所を有していること。 ②福島県外の高等学校を卒業した者・・・卒業の月に福島県奨学資金を受けていたこと。 【学力】高等学校における最終2力年の全履修科目の評定を合計し、これを全履修科目数で割った値(小数点第2位四捨五入)が3.0以上であること。ただし、2年生以上の場合は、さらに大学における学業成績が本人の属する学部(科)の平均水準以上であること。 【所得】本人の生計を主として維持する者の1年間の総収入金額が、以下経費及び生活別物給当額を算し、これを総金額	学内選考	推薦枠： 1名	貸与	月額35,000円	https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/fukusimakennsyougakusikin-2.html 	2025/6/10(火)	持参・郵送 (必着)	本学指定提出書類 <注意点>同種類(貸与型)の修学資金を他から受けていないこと。※他団体の奨学資金との併願のみ可能。併用は不可。(給付型との併用は可能です。)	

	財団名称	募集対象	応募方法	募集人数	貸与または給付	金額	応募用紙入手・リンク先	学内提出期限	提出方法	学内指定提出書類	注意点
		並額が、規定する所得基準額以下であること。(詳細は、別紙「所得金額の求め方」をご覧ください。)									
16	公益信託 日新製糖 奨学育英基金 (Nisshin Sugar Manufacturing Scholarship Foundation)	(1) 東京都内に居住しており、2025年度に本学学部3・4年次に在籍している者(正規の最終学年までの1年間あるいは2年間に在籍する学生) (2) 学業・人物ともに優秀かつ健康な学生であり、経済的事情により修学の継続が困難と認められる者 ※Only for the Japanese students.	学内選考	推薦枠: 1名	給付	月額30,000円	2025募集要項 	2025/5/9(金)	持参・郵送(必着)	本学指定提出書類	財団からの依頼により、複数の学生から応募があった場合は、4年生を優先します。
15	森記念奨学金 一般財団法人 東洋水産財団 (The Toyo Suisan Foundation)	(1) 本学の学部、博士前期課程または博士後期課程に在籍している者 (2) 食品科学に関する分野を専攻、研究している者 (3) 経済的に学業の継続が困難と認められる者 (4) 学業、人格ともに優れている者 (5) 指導教員等の推薦がある者 ※International students can also apply. This Scholarship is for Undergraduate Students and Graduate Students in the field of Food Science and Technology.	学内選考	推薦枠: 5名	給付	月額50,000円	http://www.toyosuisanzaidan.or.jp/student/index.html 	2025/6/4(水)	持参・郵送(必着)	チェックリスト(東洋水産財団)	・申請書類は原本と他にコピー6セットを提出してください。
14	公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団 (ANDO Foundation) ＜日清食品・安藤百福Scholarship＞	(1) 食科学に関連する研究を行い、食科学の発展に貢献する研究者を目指す大学院生(修士・博士課程は問わない) (2) 日本国籍を有し、日本の大学院に在籍中の者 (3) 学業、人物ともに優秀かつ健康で、学資等の経済的支援を必要としている者 (4) 就学及び生活状況を毎月報告、年度末に指定の書類提出ができる者 (5) 留学予定の方は応募不可(海外留学を目的とした奨学金ではないため) ※Only for the Japanese students.	学内選考	推薦枠: 3名	給付	年額100万円	https://www.ando-zaidan.jp/innovation/scholarship/ 	2025/4/16(水)	郵送・必着	チェックリスト(日清食品)	※他機関の奨学金受給中、または申請予定でも応募可(他機関の奨学金との併給可) ※給付期間は1年、大学院在籍中は次年度も応募可(ただし受給期間は原則最長3年)
13	公益財団法人 和佐見丸和財団 学業推奨 奨学金制度	大学2年生(2025年4月時点)で、物流、流通経済、ロジスティクス、サプライチェーン及びこれらに関連する専門分野に興味を持ち、大学において同分野を学んでいること又は今後学ぶ意思を有していること	学内選考	推薦枠: 5名以内	給付	2カ月毎に10万円	2025募集要項 	2025/5/30(金)	窓口・郵送(必着)	チェックリスト(和佐見丸和財団)	・支給期間: 2025年10月から2027年3月まで ・応募書類HP入手は2025年4月1日から開始 https://maruwa-foundation.or.jp/scholarship/
12	公益財団法人 いであ環境・文化財団 (Idea Environment and Art Foundation)	(1) 令和7年4月1日現在、学部2年次以上の者(大学院博士課程までを含む)で、大学の正規課程において、将来、環境保全の分野で社会貢献を目指すための科目を履修していること (2) 所属大学からの推薦を受けることができること (3) 別途定める 学力基準を満たしている者(GPA2.5以上) (4) 過去において、当財団の奨学金制度による奨学金を受給していないこと ※International students can also apply.	学内選考	推薦枠: 各学部・研究科で3名以内 (ただし、1人の推薦者(指導教員)が推薦できる応募数は1名まで)	給付	年額200,000円	2025募集要項 	2025/4/22(火)	郵送・必着	チェックリスト(いであ環境文化財団)	【応募書類】 (1) 奨学金給付願書(所定様式1) (2) 直近年度までの成績証明書(GPAも記載されている者) (3) (2)についてのGPA計算書(所定様式2) (4) 所属大学の推薦書(所定様式3) (5) 推薦理由書(所定様式4) (6) 個人情報の取扱いに関する同意書(所定様式5) (7) 応募理由書(奨学金応募の目的や用途を記載した書類)(所定様式6) (8) 活動実績を記載した書類 ・学生からの直接応募は受け付けておりません。 ・大学(大学院を含む)ごとの応募者数の制限を設けます。1人の推薦者(原則として応募者を直接指導する教授・教員等)が推薦できる応募者は1人とし、各学部あるいは研究科からの応募者数の上限は3人とします。(※例: ○○大学理学部から3名＋○○大学院理学研究科から3名 是可)

	財団名称	募集対象	応募方法	募集人数	貸与または給付	金額	応募用紙入手・リンク先	学内提出期限	提出方法	学内指定提出書類	注意点
11	一般財団法人 守谷育英会 (The Moritani Scholarship Foundation)	(1) 学部生、大学院生 (2) 学業、人物ともに優秀であって、学資の支弁が困難な者 ※昨年度10月に秋入学向け奨学金に応募した学生は対象外 ※International students can also apply.(Residence certificate must be attached)However, applications from government-sponsored students are not accepted.	学内選考	全国： 約80名 (昨年度採用数87名(応募者総数845名))	給付	学部生：月額140,000円 大学院生：月額170,000円	2025募集要項 	2025/4/18(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	※他団体との併願・併給可
10	公益財団法人 海技教育財団 (Marine Academy Foundation)	次の全てに該当する者 ・2025年4月に海洋工学部海事システム工学科、海洋電子機械工学科及び乗船実習科に在籍する者 ・経済的理由により修業が困難(経済的理由：家計支持者の住民税所得割額が非課税又は生活保護受給世帯) ・船員への志望が強く・勉学意欲・人物ともに優良かつ健康	学内選考	(1)一般奨学生<貸与>：14名 (2)特別奨学生(二) <貸与> (3)特別奨学生(三) <貸与>：4名 ※詳細は募集要項参照	貸与	一般奨学生及び特別奨学生(二) 貸与月額 20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、60,000円から選択 特別奨学生(三) 貸与額：年額100,000円(1回限り)	2025募集要項 	2025/4/30(水)	窓口・郵送(必着)	チェックリスト(海技教育財団)	越中島地区のみ募集 ※参考ホームページ https://macf.jp/scholarship/
9	公益財団法人辰野環境財団	(1) 将来、地球環境問題解決に寄与し、社会貢献を目指す3年生(学部不問・大学院生は対象外・外国人留学生も応募可) (2) 学業・人物ともに優秀かつ健康であり、経済的支援を必要とする者 (3) 当財団が要請するレポートや給付期間中の成績証明書等の提出ができる者	学内選考	全国：15名	給付	月額30,000円	2025募集要項 	学内締切：2025/4/18(金)	郵送(必着)	チェックリスト(辰野環境財団)	【必要書類】 ①奨学生願書(手書きによる) ②在籍校の推薦書 ③在学証明書 ④直近年度の成績証明書※GPAの記載がない場合は、在籍校にて別途GPAを算出していただき、算出根拠と算出したGPAを記載したものを、成績証明書と合わせてご提出ください。 ⑤課税(所得)証明書※収入、所得、控除、課税額が記載されている証明書で、現時点で取得できるもの。なお、学生が属する世帯において主として生計を立てている方の証明書をご提出ください。 ⑥世帯全員分の住民票の写し(原本)発行日から3か月以内であり、続柄の記載があるもの 本籍地又は在留資格等の記載があるもの ⑦小論文「世界において、大量生産・大量消費による経済活動や急速な人口増加による地球温暖化、生物多様性の劣化、海洋汚染など、様々な環境問題が拡大してきている。それに対応するため、社会全体として持続可能な開発目標(SDGs)や脱炭素社会を目指す動きが見られる。皆さんが取り組んでいる学問も俯瞰してみると、分野に拘わらず何らかの形で環境問題の解決に係わっている。」こうした状況を考慮し、皆さんが『学んでいる、あるいは学ぼうとしている研究は、どのような形で環境問題の解決に関係しているか』をテーマとした小論文を作成して下さい。(A4用紙2枚程度、フォントサイズ10.5)

	財団名称	募集対象	応募方法	募集人数	貸与または給付	金額	応募用紙入手・リンク先	学内提出期限	提出方法	学内指定提出書類	注意点
8	公益財団法人中董奨学会	①2025年4月1日現在、年齢が30歳未満の方 ②2025年4月1日現在、学部3年生または大学院1年生(修士、博士課程問いません) ③学業優秀、品行方正、心身ともに健康で、経済的な理由により学資の支弁に困難している方 ④就学及び生活状況を当会 SNS で毎月報告、年度末に当会指定の書類提出ができること ⑤他機関の奨学金受給中、または申請予定でも応募できますが、併用不可の奨学金を受給中または申請予定の方は、当会に応募できません ⑥留学予定の方は応募不可(海外留学を目的とした奨学金ではない為) ⑦奨学金は最長2年間支給、お一人1回限り、学部→大学院、修士→博士の進学は対象外となります ※当財団の奨学生に過去採用実績のある方、またはそのご家族の方は対象外 ※Only for the Japanese students.	学内選考	本学推薦枠:1名	給付	月額50,000円 (最長2年間)	(指定校願書はこちら) (小論文・推薦書財団書式はこちら)→ https://www.nakashima-foundation.org/scholarship/ 	学内締切:2025/4/30(水)	窓口・郵送(必着)	チェックリスト(中董奨学会)	【応募書類】 ①中董奨学会 指定校願書※(財団書式) ②小論文「ご自身について」※(財団書式) ③指導教官推薦書※(財団書式) ④在学証明書(学校書式、直近のもの) ⑤学業成績証明書(学校書式、直近のもの) ※4月より編入学の方は編入する大学の在学証明書と前校の成績証明書を提出。 ※その他義務・注意事項を必ず下記URLより募集要項を確認してください。 https://www.nakashima-foundation.org/scholarship/pdf/bosyu_youkou.pdf
7	全日本海員組合奨学金 (All Japan Seamen's Union Scholarship)	下記の学科等に所属し、船員になろうとする意思の強い者 ・海洋工学部:海事システム工学科・海洋電子機械工学科・乗船実習科 ・海洋生命科学部、海洋資源環境学部、海洋科学専攻科 ※Only for the Japanese students.	学内選考	若干名	貸与	月額10,000円または月額16,000円から選択	http://www.jsu.or.jp/member/scholarship/ 	2025/4/30(水)	窓口・郵送(必着)	チェックリスト(全日本海員組合)	貸与期間:奨学生に決定した時から学校の修学年限の終期(乗船実習科含む)まで ※再申請手続き:奨学生である人が本科などの現行課程を卒業して新たに入学手続きを必要とする学校や課程に進学する場合(専攻科への進学含む)は改めて申請手続きを必要とします。ただし乗船実習科は再申請の必要はありません。 貸与方法:学校の指定口座に送金し、学校長を経由して貸与。 ※応募書類については、(品川)学生サービス課 奨学係窓口、(越中島)学生支援係窓口に取りに来てください。
6	東京海洋大学近藤記念海事財団 (TUMSAT Kondo Marine Memorial Foundation)	学部(2年生～4年生)、博士前期課程1年生～2年生、博士後期課程1年生～3年生、海洋科学専攻科、乗船実習科 (1)海事に関する業務に従事しようとする者 (2)学業成績及び人物が優秀である者 (3)健康である者 ※ Only for the Japanese students.	学内選考	1名	貸与	月額40,000円(学部、海洋科学専攻科及び乗船実習科) 月額70,000円(大学院)	https://www.kaiyodai.ac.jp/campuslife/upload-file/741a8fbb7b3485f694ce6a1a13b675b4b217cb8.pdf 	学内締切:2025/4/8(火)	窓口・郵送(必着)	近藤記念海事財団願書	
5	公益財団法人 海技教育財団 (Marine Academy Foundation)	2025年度入学準備金貸付制度 ・2025年4月に海洋工学部海事システム工学科または海洋電子機械工学科に入学が決定している者 ※ Only for the Japanese students.	学内選考	7名	貸与	貸与額:10万円、20万円、30万円、40万円、50万円のいずれか選択	https://www.kaiyodai.ac.jp/campuslife/upload-file/aaeaa6c09583a12592c8e6223a29a8384c86da27.pdf 	第1回:2025/3/10(月) 第2回:2025/3/28(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	越中島地区のみ募集 https://macf.jp/scholarship-2/ ダウンロードファイルから応募用紙入手
4	公益財団法人JPC奨学財団	(1)2025年4月1日現在、大学1年生及び大学院1年生(修士課程又は博士前期課程)であること (2)日本国籍を有すること (3)2025年4月1日現在の年齢が30歳以下であること (4)学業、人物ともに優秀であり、健康であること ※ Only for the Japanese students.	学内選考	全国:17名程度	給付	月額40,000円 学部生は4年次修了時まで(最長で2029年3月までの4年間)、大学院生は2年次修了時まで(最長で2027年3月までの2年間)	https://www.netipc.com/company/scholarship/ 	学内締切:4月25日(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	他団体等から奨学金を受ける場合であっても応募は可能ですが、選考にあたっては他の奨学金の受給状況を考慮します。また、併給を希望する場合、奨学金支給団体によっては併給を認めない場合があるので注意してください。

	財団名称	募集対象	応募方法	募集人数	貸与または給付	金額	応募用紙入手・リンク先	学内提出期限	提出方法	学内指定提出書類	注意点
3	公益財団法人 北野生涯教育振興会 (Kitano Foundation of Lifelong Integrated Education) ＜ライフシフト奨学金＞	・日本国籍を有していること ・在学する学校長、学長、研究科長、専攻長または指導教官等の推薦する方 ・心身ともに優れている方 ・社会人として就労経験が3年以上(通算)あること ・指定大学2年次在学、当該年度編入・学士入学として3年次に在学、または指定大学院修士課程1年次に在学し、いずれも原則として2025年4月1日において45歳以下の方 ・収入要件: 給与収入世帯の場合: 世帯合計収入1000万円未満 給与収入以外の世帯: 自営業等その他収入500万円未満※就学のため休職または退職し収入が減少する見込みも可(要エビデンス) ・年1回の奨学生交流会への出席 ※ Only for the Japanese students.	学内選考	本学推薦枠: 1名 (全国: 15名程度)	給付	学部2年～4年: 月額60,000円 3年間(3年編入者などは2年間) 博士修士課程1年次: 月額70,000円 2年間	https://kitanozaidan.box.com/s/36x3ft5epcid0cstlfi4vssagylcycx6 	学内締切: 2025/5/9(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	他の財団、民間団体等の奨学金との併給は認めません。(公的支援、日本学生支援機構の奨学金、ならびに在籍する大学が独自に設定している奨学金【授業料免除など】は併給可)
2	公益財団法人 上野教育文化財団	海技系大学、海技系大学校、水産大学校の新3年生(2025年4月現在)で次の各号のすべてに該当する者 (1) 船員教育機関や水産系学術機関に在学し、3級以上の海技士を目指す学生であること (2) 高い志をもち、学業が優れ、品行が正しく、かつ、健康であること (3) 親権者(または未成年後見人等)の同意を得ていること (4) 本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員ではないこと	学内選考	全国: 15名程度	給付	月額20,000円を毎年6月及び10月に半年分ずつ振込給付(就学目的以外には使用できません)	https://www.uecf.or.jp/scholarship/guidance 	学内締切: 2025/4/11(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	選考にあたり、当財団の趣旨として特定校の学生に集中せず各校の学生を平等(応募者のうち3名まではこれまでどおり原則採用)に採用できるよう配慮する。総応募者数が募集人数を超える場合は、応募者の多い学校の学生について成績を主とした基準に基づき選考委員会にて選考する。
1	公益財団法人 G-7奨学財団 (G-7 FOUNDATION)	■日本国内の大学又は大学院に在籍し(ただし通信制大学及び夜間大学は除く)、学業優秀かつ学修意欲があり、将来社会的に有益な活動を目指す者であつて、学資の援助をすることが必要であると認められること。 ■日本国籍を有していること。 ■他の奨学金制度との併用・併願は可能です。(ただし、支給額を調整することがあります。) ■海外留学の場合は、留学期間中の単位が国内在籍大学の単位とみなされること。(休学し、海外留学を行う場合は要件をみたさないものとします。) ■学力基準: 学部1年生 高校3年間評定値が4.0以上、学部2年生以上 直近1年間の標準GPA3.1以上 ■家計基準: 財団HPをご参照ください ※ Only for the Japanese students.	学内選考	全国: 件程度(後報)	給付	年間上限1,200,000円	https://g-7foundation.or.jp 	R7年度新入生: 2025/4/11(金) R7年度新入生以外: 2025/4/4(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	